



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 ミツ星
コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 聡一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 金城 安弘

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,508	6.7	231	△16.9	226	△6.0	337	108.0
29年3月期第2四半期	4,225	△11.7	277	205.8	241	176.2	162	152.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 369百万円 (123.4%) 29年3月期第2四半期 165百万円 (511.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	295.19	—	—	—
29年3月期第2四半期	141.85	—	—	—

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	9,209	4,957	53.8	4,341.67		
29年3月期	9,139	4,662	51.0	4,081.57		

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,957百万円 29年3月期 4,662百万円

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり純資産につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,350	6.7	510	0.8	490	1.3	330	△7.9	288.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,266,655 株	29年3月期	1,266,655 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	124,751 株	29年3月期	124,751 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	1,141,904 株	29年3月期2Q	1,142,445 株

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び通期連結業績予想について)

当社は、平成29年6月27日開催の第72期定時株主総会において、株式併合に係る議案が可決されたことにより、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定です。なお、当該株式併合を考慮しなかった場合の平成30年3月期の配当予想及び通期連結業績予想は以下のとおりです。

- 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 8円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 通期 57円80銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果もあって、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、世界経済は、米国における政策運営の懸念や英国のEU離脱問題、アジア諸国の経済や地政学的リスクにより先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資は、円安基調や企業収益の改善を受け緩やかに回復してきております。また、公共投資も堅調に推移してきており、新設住宅着工件数は、低金利で推移する住宅ローンに支えられるも横ばいの推移となりました。

このような状況の中、当社グループの売上高は、新規得意先の開拓強化や主原材料である銅価格が前年同期比で26%上昇したことなどにより前年同期を上回りました。

営業利益につきましては、高付加価値製品の販売量減少や販売費及び一般管理費のうち運賃運送費等の増加が影響し前年同期を下回りました。経常利益につきましては、前期に比べ為替差損は減少しましたが、原材料価格の上昇分を吸収できず前年同期を下回りました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、東京支店・東京営業所移転に伴う土地等の固定資産売却益や税効果による法人税等調整額の計上により前年同期を大幅に上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,508百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は231百万円（前年同期比16.9%減）、経常利益は226百万円（前年同期比6.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円（前年同期比108.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、公共事業・設備投資が緩やかな回復基調にあるにも拘わらず、ゴム電線、プラスチック電線ともに前年比減少基調で推移しておりますが、一方、銅価格が前年よりも上昇している影響をうけて売上高は2,973百万円（前年同期比7.4%増）と増加しました。

利益面につきましては、生産性の改善やコスト削減に取り組みましたが、プラスチック電線の原材料の値上げの影響を受けてセグメント利益は130百万円（前年同期比29.8%減）となりました。

[ポリマテック]

当事業に関連のある新設住宅着工件数が前年並みで推移しているなか、既存顧客への拡販及び新規顧客獲得に注力した結果、全体の売上高は1,187百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減、コスト削減に取り組んだ結果、セグメント利益は63百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

[電熱線]

当事業の主要な市場である白物家電向けヒーター用途において、一部受注が減少したものの、白物家電向けヒーター用途以外の開拓分野として取り組んできた、産業機器向け及び食品機械向けヒーター用途、抵抗器用途での需要増により売上高は347百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

利益面につきましては、比較的付加価値の高いニッケル系鋼種及び帯製品が産業機器向けヒーター用途を中心に売上増となったことや生産性の改善に取り組んだ結果、セグメント利益は36百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,144百万円となり、前連結会計年度末と比べ216百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が202百万円、電子記録債権が50百万円、仕掛品が31百万円、原材料が11百万円増加しましたが、現金及び預金が94百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,065百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円減少しました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が65百万円、投資有価証券が47百万円増加しましたが、有形固定資産が260百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は9,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,883百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加しました。これは主に電子記録債務が107百万円、支払手形及び買掛金が63百万円増加しましたが、流動負債のその他に含まれる1年内返済予定長期借入金が87百万円、未払法人税等が22百万円、賞与引当金が21百万円、未払費用が12百万円、預り金が10百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ238百万円減少しました。これは主に長期借入金が226百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,252百万円となり前連結会計年度末に比べ224百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ294百万円増加しました。これは主に利益剰余金が262百万円、その他有価証券評価差額金が32百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.8%（前連結会計年度末は51.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より94百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には1,267百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、93百万円の獲得（前年同期は332百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益286百万円（前年同期は税金等調整前四半期純利益237百万円）や仕入債務の増加181百万円（前年同期は163百万円の減少）に対し、売上債権の増加256百万円（前年同期は85百万円の減少）、たな卸資産の増加49百万円（前年同期は98百万円の減少）、固定資産売却益40百万円（前年同期は0百万円）、賞与引当金の減少21百万円（前年同期は1百万円の減少）等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は217百万円の獲得（前年同期は46百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入258百万円（前年同期は0百万円の収入）、投資有価証券の売却による収入22百万円（前年同期は7百万円の収入）に対し、有形固定資産の取得による支出59百万円（前年同期は51百万円の支出）等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は400百万円の使用（前年同期は429百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出313百万円（前年同期は341百万円の支出）や配当金の支払額73百万円（前年同期は45百万円の支払）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,362,005	1,267,182
受取手形及び売掛金	2,910,452	3,113,048
電子記録債権	292,080	342,989
商品及び製品	839,131	841,758
仕掛品	192,692	224,037
原材料及び貯蔵品	184,372	198,819
その他	146,934	156,335
流動資産合計	5,927,670	6,144,172
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,873,396	1,691,749
その他(純額)	698,746	619,705
有形固定資産合計	2,572,143	2,311,454
無形固定資産		
	52,178	48,180
投資その他の資産		
投資有価証券	541,059	588,727
その他	49,818	119,187
貸倒引当金	△3,575	△1,775
投資その他の資産合計	587,303	706,140
固定資産合計	3,211,624	3,065,776
資産合計	9,139,294	9,209,948
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	974,847	1,038,228
電子記録債務	584,749	692,345
短期借入金	290,000	290,000
未払費用	32,752	20,395
未払法人税等	37,098	14,315
賞与引当金	79,933	58,115
その他	869,904	770,548
流動負債合計	2,869,286	2,883,948
固定負債		
長期借入金	1,007,482	780,664
長期未払金	232,168	232,006
退職給付に係る負債	295,558	288,672
その他	71,825	66,889
固定負債合計	1,607,034	1,368,232
負債合計	4,476,320	4,252,181

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	2,300,066	2,562,926
自己株式	△150,505	△150,505
株主資本合計	4,419,674	4,682,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,068	230,948
為替換算調整勘定	23,834	20,379
退職給付に係る調整累計額	21,396	23,904
その他の包括利益累計額合計	243,299	275,232
純資産合計	4,662,974	4,957,767
負債純資産合計	9,139,294	9,209,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,225,046	4,508,601
売上原価	3,257,121	3,550,006
売上総利益	967,925	958,594
販売費及び一般管理費	689,995	727,574
営業利益	277,929	231,020
営業外収益		
受取利息	949	34
受取配当金	6,432	6,574
受取家賃	4,490	4,490
仕入割引	3,171	3,416
その他	3,307	5,643
営業外収益合計	18,350	20,160
営業外費用		
支払利息	9,215	5,730
売上割引	8,928	9,505
為替差損	34,918	4,233
その他	1,872	4,732
営業外費用合計	54,934	24,200
経常利益	241,346	226,980
特別利益		
固定資産売却益	483	40,102
投資有価証券売却益	—	19,422
特別利益合計	483	59,525
特別損失		
固定資産除却損	708	247
投資有価証券売却損	3,838	—
特別損失合計	4,547	247
税金等調整前四半期純利益	237,283	286,258
法人税、住民税及び事業税	14,671	17,309
法人税等調整額	60,553	△68,134
法人税等合計	75,224	△50,825
四半期純利益	162,058	337,083
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,058	337,083

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	162,058	337,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,360	32,879
為替換算調整勘定	△5,230	△3,455
退職給付に係る調整額	3,025	2,508
その他の包括利益合計	3,156	31,933
四半期包括利益	165,214	369,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,214	369,017

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	237,283	286,258
減価償却費	68,805	66,727
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△294	△1,800
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,867	△21,818
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,107	△2,456
受取利息及び受取配当金	△7,381	△6,609
支払利息	9,215	5,730
固定資産売却損益 (△は益)	△483	△40,102
固定資産除却損	708	247
投資有価証券売却損益 (△は益)	3,838	△19,422
売上債権の増減額 (△は増加)	85,328	△256,919
たな卸資産の増減額 (△は増加)	98,424	△49,946
仕入債務の増減額 (△は減少)	△163,693	181,751
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,614	△12,371
その他	36,159	8,422
小計	364,537	137,689
利息及び配当金の受取額	7,382	6,609
利息の支払額	△9,154	△5,666
法人税等の支払額	△29,979	△45,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	332,785	93,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,543	△59,833
有形固定資産の売却による収入	500	258,118
投資有価証券の取得による支出	△3,221	△3,303
投資有価証券の売却による収入	7,469	22,448
その他	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,795	217,440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,093	—
長期借入金の返済による支出	△341,890	△313,912
配当金の支払額	△45,452	△73,894
その他	△11,578	△12,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429,014	△400,632
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,645	△5,218
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△159,670	△94,822
現金及び現金同等物の期首残高	1,455,210	1,362,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,295,539	1,267,182

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	2,769,454	1,153,519	302,072	4,225,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	107	—	—	107
計	2,769,562	1,153,519	302,072	4,225,154
セグメント利益	186,484	56,482	34,963	277,929

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	2,973,871	1,187,135	347,594	4,508,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,513	—	—	2,513
計	2,976,385	1,187,135	347,594	4,511,114
セグメント利益	130,931	63,273	36,815	231,020

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。